

- ルディアドコキネシスの測定. 新潟歯学会誌, 39(1): 61-3 頁, 2009.
- 40) 島田久寛: 食塊の物性と嚥下閾値との関係. 学位研究紹介, 新潟歯学会誌 39 (2): 93-5 頁, 2009.

歯科侵襲管理学分野

【著書】

- 1) 瀬尾憲司: 痛みの病態生理学 第22回, 臨床痛の要因分析: 三叉神経痛領域の病態生理, 理学療法 26 (10), 1252-1262, 2009.
- 2) 瀬尾憲司, 染矢源治: PGA-collagen tube を用いた三叉神経損傷の新たな治療戦略, 新潟歯学会雑誌 39 (1) ,55-56, 2009.
- 3) 中村達雄, 稲田有史, 瀬尾憲司, 照光 真, 茂野啓示: 特別企画 顎顔面領域の神経損傷に対する新たなアプローチ—PGA-C tube 人工神経管を用いた神経再生, 歯界展望, 医歯薬出版 (東京都), 12: 1167-1187, 2009

【論文】

- 1) Seo K, Seino H, Yoshikawa H, Petrenko A.B, Baba H, Fujiwara N, Someya G, Kawano Y, Maeda T, Matsuda M, Kanematsu T, Hirata M, Genetic reduction of GABAA receptor 2 subunit expression potentiates the immobilizing action of isoflurane, *Neurosci Lett* 472: 1-4, 2009.
- 2) Seino H, Seo K, Maeda T, Someya G, Behavioural and histological observations of sensory impairment caused by tight ligation of the trigeminal nerve in mice, *J Neuroscience Methods* 181: 67-72, 2009.
- 3) 倉田行伸, 塚田博子, 弦巻 立, 瀬尾憲司, 田中 裕, 豊里 晃, 染矢源治: 急劇な心拍上昇から悪性高熱症を疑い, ダントロレンが奏効したと推測された症例, *日本歯科麻酔学会雑誌*, 37 (2): 213-214, 2009.
- 4) 瀬尾憲司: 顎顔面領域における神経再生医療, 顎顔面領域における神経腫腫への対応と外科的治療の必要性, 歯界展望, 医歯薬出版 (東京都), 11: 894-903, 2009.
- 5) 瀬尾憲司, 藤原直士, Petrenko A, 馬場 洋, 松田将門, 兼松隆, 平田雅人, イソフルランによる疼痛反射抑制は GABA 受容体 $\gamma 2$ サブユニットを介さない? 神経麻酔・集中治療, 2009.
- 6) 金丸祥平, 新美奏恵, 小田陽平, 小林正治, 西山秀昌, 新垣晋, 齊藤 力: 顎下部に発生した乳幼児線維腫症の 1 例, *日本口腔腫瘍学会誌*, 21 (4), 273-

278, 2009.

- 7) 村松芳幸, 村松公美子, 田中 裕, 他: 身体疾患と気分障害, *心身医学*, 49 (9), 971-978, 2009.
- 8) 村松公美子, 村松芳幸, 田中 裕, 他: プライマリー・ケアにおける気分障害の認識と診断について, *心身医学*, 49 (9), 961-969, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 瀬尾憲司: 基盤研究 (B), 平成 20 ~ 22 年度, 課題番号 20390511, 研究代表者 瀬尾憲司, (13,500 千円) GABAA 受容体は本当に痛覚伝達を抑制させるか?
- 2) 弦巻立: 下歯槽神経における神経因性疼痛に関するセロトニン受容体の解明. 課題番号 20791502, 平成 20-22 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手 (B) 2,340 千円.

【講演・シンポジウム】

- 1) 瀬尾憲司: 歯科における神経との付き合い方, 医療法人長岡歯科勉強会, 長岡市, 平成 21 年 6 月 11 日.
- 2) 瀬尾憲司: 文部科学省委託事業 社会人の学び直しニーズ対応教育促進プログラム「潜在的歯科衛生士の再就職促進のための教育・研修・スキルアッププログラム」— 歯科医院における偶発症の予防と対処法, 歯科医院における救急蘇生法—, 明倫短期大学, 新潟市, 平成 21 年 6 月 21 日.
- 3) 瀬尾憲司: 第 39 回日本口腔インプラント学会 歯科麻酔学会のシンポジウム, 神経障害のメカニズムに応じた治療法の確立, 大阪市, 平成 21 年 9 月 26 日.

【学会発表】

- 1) K. Seo, N. Fujiwara, T. Maeda, T. Kanematsu, M. Hirata, Nociceptive transmission in the trigeminal subnucleus caudalis of PRIP-1, PRIP-2 double knockout mice. Annual meeting of society for neuroscience, in Chicago, Oct, 18th, 2009
- 2) 田中 裕, 村松芳幸, 真島一郎, 片桐敦子, 藤村健夫, 清水夏恵, 齊藤 功, 吉嶺文俊, 村松公美子, 下条文武, 櫻井浩治, 染矢源治: 歯科治療恐怖症の病態に対する心理的因子の傾向についての検討, 第 1 回日本心身医学 5 学会合同集会, 2009 年 6 月 6-7 日, 東京都, 抄録集, 270, 2009.
- 3) 真島一郎, 清野 洋, 藤村健夫, 清水夏恵, 齊藤 功, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 長谷川隆志, 村松芳幸, 下条文武, 田中 裕, 新沢秀範, 村松公美子: 気管支喘息患者における換気応答試験下の呼吸困難感・自律神経機能・心理的因子の関係について, 第 1 回日本心身医学 5 学会合同集会, 2009 年 6 月 6-7 日,

東京都, 抄録集, 130, 2009.

- 4) 藤村健夫, 清野 洋, 清水夏恵, 田中 裕, 真島一郎, 片桐敦子, 村松公美子, 村松芳幸: 透析患者の難治性腰痛に対してパロキセチンが奏効した1例, 第1回日本心身医学5学会合同集会, 2009年6月6-7日, 東京都, 抄録集, 206, 2009.
- 5) 金丸祥平, 新垣晋, 小林正治, 齊藤 力: 術後13年を経て血管柄付前腕皮弁に発生した舌癌の1例, 第33回日本頭頸部癌学会, 札幌市, 2009年6月10-12日.
- 6) 大倉直人, 吉川博之, 塚田博子, 倉田行伸, 弦巻 立, 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治: 頬部粘膜腫瘍摘出後に発症した急性閉塞性隅角緑内障の1例, 関東臨床歯科麻酔懇話会, 東京都, 2009年7月4日.
- 7) 田中 裕, 瀬尾憲司, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 染矢源治: 歯科治療恐怖症患者の初診時における心理的因子の検討, 第37回日本歯科麻酔学会総会, 2009年10月9日, 名古屋市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 37(4), 445, 2009.

【研究会発表】

- 1) 大倉直人, 吉川博之, 塚田博子, 倉田行伸, 弦巻 立, 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治: 頬部粘膜腫瘍摘出後に発症した急性閉塞性隅角緑内障の1例, 第64回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2009年5月14日.
- 2) 弦巻 立, 塚田博子: 術後にACTH-ADH分泌過剰症発作を認めたターナー症候群患者の一例: 新潟口腔外科麻酔科集談会, 第65回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2009年11月10日.

【その他】

- 1) 瀬尾憲司: AHA BLS provider コース インストラクター, 2009年8月2-3日, 新潟市.
- 2) 染矢源治, 瀬尾憲司, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 吉川博之: 医療法人徳真会 救急講習会, 平成21年9月6日, 新潟市.
- 3) 瀬尾憲司, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 吉川博之, 金丸祥平: 新潟市歯科医師会 新人会員救急講習会, 2009年12月10日, 新潟市.
- 4) 瀬尾憲司: 新潟大学ICLSコース インストラクター, 2009年12月19日, 新潟市.
- 5) 瀬尾憲司: AHA BLSコース, コーディネーター, 2010年2月13日, 14日, 新潟市.

口腔生命福祉学科

【著書】

- 1) Seymour GJ, Gemmell E, Yamazaki K: T cell responses in periodontitis., *Periodontal Medicine and Systems Biology* (Henderson B, Curtis M, Seymour RA, Donos N), P201-218, Wiley-Blackwell Publishing Limited, Oxford, UK, 2009.
- 2) 福島正義: MI (Minimal Intervention) を理念としたエビデンス (根拠) とコンセンサス (合意) に基づくう蝕治療ガイドライン (日本歯科保存学会編), 12~29頁, 永末書店, 東京, 2009.
- 3) 福島正義: PBL チュートリアル・ガイドブック (新潟大学歯学部編), 88~93頁, 140~143頁, 148~150頁, 2009.
- 4) 福島正義, 石川裕子: 歯科衛生士教育サブテキスト 臨床実習 Hand Book (眞木吉信, 藤原愛子, 高坂利美, 石井実和子, 泉野裕美監著), 64-69頁, クンテッセンス出版, 東京, 2010.
- 5) 富沢美恵子: 最新歯科衛生士教本小児歯科 小児歯科における患者との対応法. (全国歯科衛生士教育協議会監修), 91 - 109頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.

【論文】

- 1) Han L, Ishizaki H, Fukushima M, Okiji T: Morphological analysis of the flowable resins after long-term storage or surface polishing with a mini-brush. *Dent Mater J* 28(3): 277-284, 2009.
- 2) Tabeta K, Shimada Y, Tai H, Ishihara Y, Noguchi T, Soga Y, Takashiba S, Suzuki G, (ア) Kobayashi T, Oka A, Kobayashi T, Yamazaki K, Inoko H, Yoshie H: Assessment of (イ) chromosome19 for genetic association in severe chronic periodontitis. *J Periodontol* 80:663-71, 2009.
- 3) Seymour GJ, Ford PJ, Cullinan MP, Leishman S, West MJ, Yamazaki K. Infection or inflammation: The link between periodontal and cardiovascular diseases. *Future (ア) Cardiology* 5(1): 5-9, 2009.
- 4) Nakajima T, Yamazaki K: Periodontal disease and risk of atherosclerotic coronary heart disease. *Odontology* 97(2): 84-91, 2009.
- 5) Nakajima T, Honda T, Domon H, Okui T, Kajita K, Ito H, Takahashi N, Maekawa T, (ア) Tabeta K, Yamazaki K: Periodontitis associated up-regulation of systemic